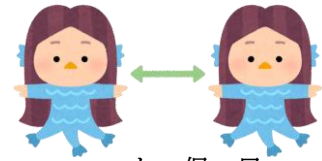


## 世界の動き

世界保健機関（WHO）は4月、「ソーシャル・ディスタンシング」を「フィジカル・ディスタンシング」という表現に改めました。フィジカルは「物理的」という意味。ソーシャル（社会的）という表現では「愛する人や家族との関係を社会的に断たなければならぬ」と誤解されかねず、あくまで物理的な距離を置くだけだと伝えるねらいからです。WHOの専門家は「人と人とのつながりは保ってほしい」と解説しています。WHOが最初に唱えたソー



新型コロナウイルス感染症を拡大させないために、日本では「ソーシャル・ディスタンス（社会的距離の確保）」という言葉が広がり、私たちの生活に定着しました。しかし、その言葉が今、見直されようとしています。

# ソーシャル・ディスタンスからフィジカル・ディスタンシングへ



## インドの歴史から

インドにはカーストという「生まれ」を意味する階級と職業集団から構成された身分制度がありました。所属する階級によっては結婚や仕事にも影響がありました。

さらに、そのカーストに入れない「外に置かれた人々」がいました。その人々に対して、接触しない・交流しない・生活の中でのかわりをもたない

## これから私たちは

その言葉が生まれた歴史から考えると、使うべきではない——このような問題提起が今夏、九州の人権教育の会議で行われました。現在、九州では「ソーシャル」を「キープ」「フィジカル」に変えて表現し直そうと動き出しています。

という差別が当たり前になっていたのです。カーストの外に置かれた人々と「社会的距離」をとるために、それ以外の人々が行ってきた差別……「ソーシャル・ディスタンス」は、そのような中から生まれたのではないかとわれています。

1950年、インドは憲法を制定し、カーストによる差別を禁止しました。しかし、その差別意識は人々の中に残っており、さまざまな差別事象が今もなお続いているのです。

これは単なる「言葉の問題」ではありません。その背後に「差別の意図」が隠されているのです。「ソーシャル」から「キープ」「フィジカル」への表現、私たちも考えてみてはどうでしょうか。（「東京新聞 web」「Campathy Magazine」「県同教かいほう」他より構成）

【ご家庭から】ご感想をお待ちしております。学級担任にお渡しください。

年 組／お名前 (ペンネームも O.K. です)

◆書いていただいた内容をこの通信で紹介してもよろしいですか？ ( ○ ・ × )